

始球式でボールを蹴り人工芝グラウンドの完成を祝った



# 人工芝 待望の一蹴り

## 八学大に新グラウンド完成

## 2面隣接、公式戦に対応

### 八戸

八戸市の学校法人光星学院（法官新一理事長）が同市美保野の八戸学院大学美保野キャンパスに整備を進めていた人工芝グラウンドが完成し、7日、関係者や選手に披露された。サッカー場と、サッカー・ラグビー兼用グラウンド計2面を設置。同大によると、人工芝グラウンドを隣接して2面設置するのは北海道・東北で初という。

（高松拓輝）

同大の男女サッカー・ラグビー部のほか、系列校の八戸学院光星高校（同市）サッカー、ラグビー部など計8団体が主に使用する。同大によると、1月に工事に着手し6月末に完成した。同キャンパス内には土のサッカー場とラグビー場があったが、同サッカー場を人工芝に変え、隣接する場所に新たに別の人工芝のグラウンドを作った。2面とも同じ規模で、1面の広さは9600平方メートル。公式戦対応の規格という。

ラグビーやサッカーは、公式戦では人工芝や天然芝で行われることが多く、部活動関係者から人工芝場の設置を要望する声が上がっていたという。7日、大学関係者ら約80人が出席した竣工式で法官理事長は「念願だったグラウンドが完成した。スポーツと学習の場として活用したい」と話した。式典後は、同大男子サッカー・ラグビー部監督らによる始球式が行われ、完成を祝った。